

# 死亡災害が多発しています



令和7年の群馬県下の労働災害の発生件数は、11月26日現在の速報値において、休業4日以上の死傷者数は2,046件で、前年同期比と比較すると113件減少(5.2%)しているものの、死亡者数はすでに13件発生しており、前年同期比の16件に近づく勢いが認められています。

年末年始のこの時期は特に慌ただしい時期であり、労働災害の発生リスクの高まる時期でもあります。

事業主の皆様におかれましては、この1年を無災害で締めくくり、来るべき新年を明るいものとするため、今一度、基本に立ち返るとともに労働災害防止に向けた取り組みをお願いいたします。

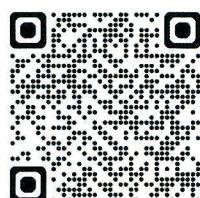
## 【死亡災害発生状況詳細】

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 11時頃 30~49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2月 13時頃 1~9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかられている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	4月 8時頃 100~299人	70歳代 作業員	スキー場でコースを点検中(最大傾斜32°)の被災者が、コース内をうつ伏せに倒れて滑り落ちている様子をリフト係員が発見し、平地で止まつた被災者に同係員が声をかけるも意識はなく、医療機関に搬送されたが死亡した。	その他の接客娯楽業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の環境等
4	5月 16時頃 30~49人	40歳代 作業員	工場内の天井に上がり移動していたところ、明かり取りのウレタンボードを踏み抜き、6.7m下のコンクリート床に激突した。	その他の金属製品製造業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
5	7月 21時頃 1~9人	60歳代 運転手	随伴車両で乗客を追走中、道路わきの電柱に激突した。	その他の道路旅客運送業	交通事故	乗用車、バス、バイク
6	7月 8時頃 10~49人	40歳代 作業員	化学工場の設備の点検のため、設備の屋上(高さ26.0m)にて作業中に墜落した。	その他の卸小売業	2メートル以上からの墜落・転落	作業床、歩み板

## 【死亡災害発生状況詳細】

8月							
7	4時頃	20歳代 作業員 300~499人	化学物質の製造ラインにおいて、当該物質を加圧する加圧槽の配管が何らかの原因により爆発し、巻き込まれた労働者Aが熱傷性ショックにより死亡した。	無機・有機化学 工業製品製造 業	爆発	圧力容器	
9月							
8	20時頃	50歳代 警備員 50~99人	高速自動車道の道路補修現場において、工事車両の誘導を行っていた被災者が、後進してきたダンプトラックに激突され死亡した	警備業	交通事故	トラック	
9月							
9	17時頃	40歳代 作業員 10~49人	事業場敷地内の碎砂ストックヤードにおいて、下部に設置されたホッパーに砂を落とす作業を行っていたところ、被災者が堆積された砂上から滑り落ち、砂に埋もれ死亡した。	セメント・同製品製造業	崩壊・倒壊	石、砂、砂利	
9月							
10	15時頃	70歳代 作業員 1~9人	碎石場にて除草作業中、被災者の姿が見えないため探したところ、約21メートル下の崖下に倒れている被災者を発見したもの。	その他の 廃棄物処理業	2メートル 以上からの 墜落・転落	地山、岩石	
9月							
11	10時頃	50歳代 作業員 10~49人	事業場敷地内の鶏糞処理作業場において、トラックを運転中に壁に激突させたため、確認のためにトラックから降りたところ、後進してきたホイールローダーに激突された。	畜産業	激突され	整地・運搬・積込み用機械	
10月							
12	15時頃	60歳代 作業員 10~49人	ゴルフ場内のカート通路において、立木の枝切作業を行うため三脚脚立(高さ3.47m)を使用して作業していたところ、何らかの原因によりバランスを崩し、地面に転落した。	ゴルフ場	2メートル 以上からの 墜落・転落	脚立	
11月							
13	10時頃	60歳代 作業員 10~49人	牛舎小屋内(複数の牛のいる)で、給餌や清掃中の被災者が倒れているのを別の労働者が発見した。	畜産業	激突され	その他の起因物	

労働災害防止の取組の際には、各種労働災害防止に係る情報サイトなどをご活用ください



厚生労働省

中央労働災害防止協会

群馬労働局

職場のあんぜんサイト

これ以上、尊い命が失われることのないよう  
より一層の取組をお願いします。